



金 容媛 教授

金容媛教授退職記念号の刊行にあたって

金容媛教授は2015年3月末日をもって定年を迎えられ、駿河台大学をご退職されました。メディア情報学部では、本学に多大な貢献をされました金容媛教授のご功績を記念して本号を刊行いたします。記念号の刊行にあたり、学部を代表しましてご功績をあらためてご紹介するとともに、これまでの本学へのご尽力に対しまして心より感謝の意を表します。

金容媛教授は、文部省学術情報センター研究開発部から、1994年に文化情報学部創設メンバーの一人として本学に着任されました。1998年には教授に昇任され、メディアセンター長、文化情報学部長、メディア情報学部長を歴任されました。研究、教育は言うまでもなく、学部・大学運営のためにも大きな力を注がれました。

金容媛教授は図書館情報学をご専門とされ、とくに日韓および欧米の図書館情報政策、情報資源管理を中心に、数多くの研究成果をあげられています。それらは国内外から高い評価を受け、Journal of Library Administrationの編集委員や文部科学省「これからの図書館の在り方に関する協力者会議」委員などの要職をお務めになられました。ご研究は、図書館情報学の分野にとどまらず、図書館情報学の隣接領域である記録管理学やアーカイブズ学にもおよび、わが国の“情報資源”研究をいっそう発展させたと評価されています。このようなご研究の成果を教育に還元され、情報政策論、情報資料論や図書館情報学などの科目をご担当されました。わかりやすい丁寧なこれらの講義では、学生に学問の楽しさを伝えられ、また専門知識の習得とその実践を重視するゼミナールでは、「知識情報社会・生涯学習社会における図書館という視点を重視し、図書館・情報センターの動き、情報資源管理システムを取り巻く問題について学ぶ」という目標を掲げて、多くの学生を育てられました。金容媛教授のゼミの卒業生は社会のさまざまな分野で活躍していますが、その多くが専門職、なかでも図書館司書として働いています。

大学運営にも貢献されました。2005年にはメディアセンター長に就任され大学運営の一翼を担われました。同センター長就任3年後の2008年、この年は学部改組の前年でしたが、文化情報学部長に就任されると同時に、メディア情報学部設置準備部会の長という重責をも担われました。準備部会では、学部構成の変更に伴う新カリキュラムの編成や新任教員人事などを扱いましたが、それらをスムーズに実施できたのは、ひとえに金容媛教授の手腕が優れていたからでした。2009年からは改組されたメディア情報学部長として学部のいっそうの充実をはかられました。

メディア情報学部教授会はこれまでのご功績をたたえ、満場一致で名誉教授にご推薦し、2015年5月、金容媛教授に名誉教授の称号が授与されました。あらためてこれまでのご貢献に心より感謝申し上げます。最後になりましたが、今後のますますのご活躍をお祈り申し上げますとともに、これからも私どもを温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

2016年1月7日
メディア情報学部長 村越 一哲